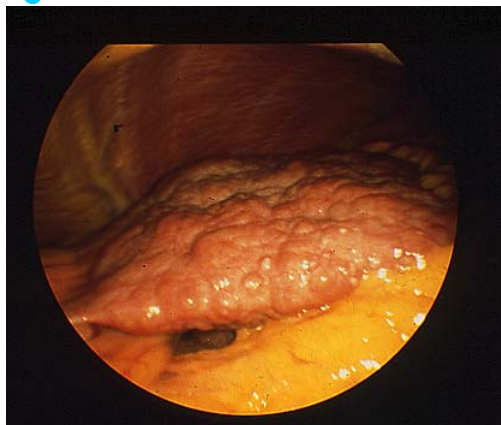


C型肝炎ウイルス感染者の方へ

C型肝炎ウイルスに感染していると、

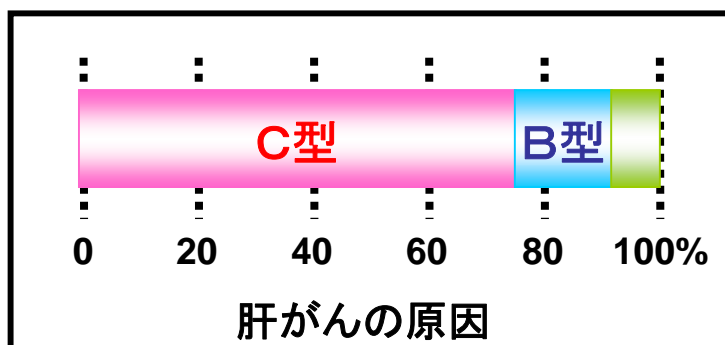


肝硬変の腹腔鏡像

C型肝炎ウイルスに感染している方は慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと進行する場合があります。現在日本では悪性腫瘍による死亡順位で、肝がんは男性で第4位、女性で第5位（年間約3万4千人）、また肝不全などの死亡者数も年間約1万5千人です。

定期的な画像検査を受けて下さい

肝がんはかなり進行しないと痛い、だるいなどの自覚症状がでません。早期に発見するには超音波検査、CT、MRIなど画像検査を定期的に行うことが重要です。



C型肝炎は治る可能性のある病気です

現在のC型肝炎の治療法

根本療法

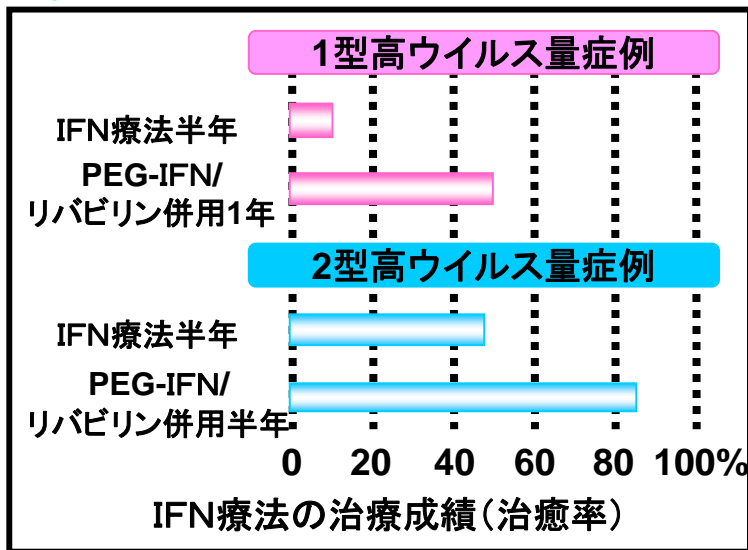
- インターフェロン(IFN)療法
- IFN・リバビリン併用療法

対処療法

- ウルソデオキシコール酸
- 強力ミノファージェン

C型慢性肝炎は治る可能性のある病気です。インターフェロン(IFN)療法によってC型肝炎ウイルスが排除されれば病気の進行が止まり、肝がんの発生率も低下します。IFN療法が行えない人は対処療法で肝炎の沈静化を目指します。

インターフェロン療法は進歩しています



日本のC型肝炎の半数以上は1型高ウイルス量というIFN療法が効きにくい症例です。以前のIFN療法では10人に1人しか治りませんでした。最新の治療では2人に1人が治ります。2型というIFNが効きやすい人は約80%が治ります。

インターフェロン療法の副作用が心配です

IFN療法の副作用として有名な発熱、倦怠感はほぼ全ての人に起こりますが徐々に軽快します。消炎鎮痛剤などを使用すれば日常生活を普通におくれ、仕事も休むことなく続けることが可能です。

インターフェロン療法には補助制度があります

IFN療法の治療費は高額でしたが平成20年4月より7年間は治療費の補助制度があります。収めている税金額に応じて一ヶ月に1万、2万円以上は支払う必要がなくなりました。詳しくはもよりの保健所又は県健康福祉部健康推進課(076-225-1436)にお尋ねください。

年1回専門医への受診をすすめています

肝炎の診断、治療はときに難しい場合があります。厚生労働省のガイドラインでも年1回は専門医を受診することをすすめています。かかりつけ医とぜひご相談ください。